

おはようございます。今日も「他者と向き合う」シリーズです。

人間は原理的にも本性的にも他者一物や出来事、他人を含めた他者一に向き合うことはできません。何故なら人間は他者を自分との関係において「理解」するからです。それは自分の理解に過ぎません。かといって理解しなければどうやって行動したらよいかわかりませんから、我々は理解せざるを得ないのです。

ですがこのように理解が「自分の理解」に閉じているからこそ、それが破れるということが起こります。この閉じた「自分の理解」を破るもの、それが他者です。それは物でも出来事でも他人でも構いません。

ことに人間としての他者の発言や行為は閉じた「自分の理解」を破る上で重要です。それによって自分一人ではとても到達できない所に達することが出来ます。

今日はここまでです。本日もよろしくお願いいたします。